
EASTWEST MEDICAL CENTER NEWS LETTER

2011年3月10日号

ここ最近、寒暖の差の激しい毎日が続いておりますが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。

今回のニュースレターは、「広東省で気をつけたい感染症と予防接種について」とのテーマにてお届けいたします。

*** 新しい提携クリニックのご紹介 ***

まずはじめに、この度「トラベルクリニック新横浜」が、新しくイーストウェストメディカルセンターの提携クリニックとなりましたのでお知らせいたします。



トラベルクリニック新横浜 院長 古賀才博先生



最寄の駅はJRおよび地下鉄新横浜駅です

同クリニックの院長の古賀才博先生は、長く海外勤務健康管理センター（JOHAC）にて海外勤務者の健康管理に従事され、「海外派遣企業での新型インフルエンザ対策ガイドライン」の作成に携わるなど、日本における海外医療の専門家です。2010年4月に、渡航医学の臨床拠点として新横浜に「トラベルクリニック新横浜」を開設。日本渡航医学会評議員、国際渡航医学会認定資格（CTH）、日本産業衛生学会指導医、東京医科大学病院「渡航者医療センター」兼任講師など、トラベルメディスンと産業医学の分野において幅広く活躍されています。

今後、当院との間で提携をいただくことにより、広東省にお住まいの日本人の方々へ赴任中、および赴任前や帰国後の健康管理によりいっそう充実した医療が提供出来ればと思っております。

トラベルクリニック新横浜

住所：神奈川県横浜市港北区新横浜 2-13-6 第一 K・Sビル 3F

TEL : 045-470-1011

URL : <http://www.travelclinics.jp/>

「ワクチン・ギャップ」という言葉をご存じですかー

「ワクチン・ギャップ」とは、海外で導入されたワクチンが、日本国内で承認を受けていないために使用できない状況のことを指します。またこのワクチン・ギャップに加え、予防接種が徹底されない日本の現状は、いまや世界から「感染症の輸出国」との指摘を受けており、ワクチンによって予防できる病気（VPD）を予防できていない「ワクチン後進国」とまで言われています。

そういった現状を踏まえた上で、海外に赴任される方自身が感染症へより関心を持つことが重要と言えるでしょう。海外で発生または流行している感染症の中には、すでに日本には存在しない、或いは感染の可能性が少ないものも多くあります。感染症から自分自身を守るだけでなく、周りの人への二次感染を防止するためにも、渡航者一人ひとりが渡航先の感染症情報を収集し、必要な予防接種を受ける必要があります。

「広東省で気をつけたい 感染症と予防接種について」

この時期より広東省に新しく赴任された方だけでなく、すでに広東省にお住まいの方々にもご参考頂ければと、当院のメディカルアドバイザーである南里清一郎先生にお話し頂きました。



広東省での生活の中で、以下の感染症へ注意が必要です。 **メディカルアドバイザー 南里清一郎先生**

蚊に刺されて感染する病気
日本脳炎、マラリア、デング熱 など

**生水の水や食物、感染者のふん便を介して
経口感染(糞口感染)する病気**
A型肝炎、コレラ など

血液・体液を介して感染する病気
B型肝炎、エイズ など

動物から感染する病気
狂犬病、ネコひっかき病 など

今回は予防接種で予防できるA型肝炎、B型肝炎、狂犬病についてお話しします。予防接種のない病気に関しては、感染経路を遮断するしかありません。

1. A型肝炎

A型肝炎は、A型肝炎ウイルス(HAV)が原因のウイルス性肝炎です。中国では肝炎による死亡数は常に上位を占めています。

A型肝炎ワクチンは、外国では1歳から接種が可能です。接種方法は、中国では通常6ヶ月の間隔を開けて2回接種します。日本では初回接種日を0月とし、0, 1, 6ヶ月の3回接種です。

Q1. 食べ物によって感染することがあると聞きましたが、感染経路はどのようなものでしょうか。

A型肝炎は、生水の水や食べ物、あるいは感染者の糞便を介した経口感染症です。できるだけ生の飲食物は避けましょう。野菜や果物、卵は十分にきれいな水で洗い、肉・魚・卵は十分に火を通してください。食前、外出後、排便後の手洗いを心がけましょう。

Q2. 主な症状は何でしょうか？

潜伏期間は2~6週間程度で、小児では軽い症状で終わることが多く、成人では発熱、下痢、腹痛、吐き気・嘔吐、全身倦怠感などの症状がみられ、さらに尿の色が濃く便が白くなり、黄疸が出現します。慢性化することはありませんが、まれに劇症肝炎など重症化することもあります。

症状がない感染初期でも、感染者の糞便中にはウイルスが排出され、他人に感染させる原因となります。

2. B型肝炎

B型肝炎は、B型肝炎ウイルス(HBV)が原因のウイルス性肝炎です。B型肝炎ウイルス保有者(キャリア)は中国で9,300万人と日本に比べ大変多いので注意が必要です。また、広東省では約12%のウイルス保有者(キャリア)がいるとされ、その数値は日本の10倍以上です。実際の広東省での発病者は、昨年2010年で28,073名となっています。

中国では乳児のB型肝炎予防接種が導入されていますが、現在、日本では母子垂直感染予防を除いて任意接種です。接種年齢は0歳からで、初回接種日を0月とし、0, 1, 6ヶ月の3回接種です。普通の生活で感染することはまれですが、キャリアの多い国では小児・成人とも予防接種を受けることをお勧めします。

Q1. どのような経路で感染しますか？

B型肝炎は血液・体液を介して感染します。感染経路は主に、垂直感染(母親がキャリアの場合の母子感染)、水平感染(父親がキャリアの場合の父子感染・性行為・輸血・臓器移植・刺青・針刺し事故等)です。

Q2. 感染した場合は必ず発症するのでしょうか。また、主な症状は何でしょうか？

B型肝炎ウイルスに感染した場合、成人では多くは無症状で経過しますが、1~6ヶ月の潜伏期間の後、20~30%が急性肝炎を発症し、そのうち1~2%が劇症肝炎、10%が慢性肝炎になるといわれています。肝炎を発症すると、全身倦怠感、食欲不振、悪心・嘔吐、黄疸などの症状が出現します。乳幼児の場合、垂直感染や父子水平感染でキャリアになることがあります。

ウイルスが存在する状態でも肝炎を発症していない状態(無症候性キャリア)では、知らずに他の人に感染させてしまう可能性があります。

3. 狂犬病

狂犬病は、致死率が高い狂犬病ウイルスによる人獣共通感染症です。中国では、ペット、食用犬などの未登録犬と、さらにその数倍の野犬が生息しています。また、狂犬病ウイルスを持っている動物は犬だけではなく、猫も要注意です。できるだけ動物には近づかないようにしましょう。

Q1. 日本では長く国内発生がありませんが、広東省の発生状況はどうでしょうか？

近年、広東省では農村部を中心に狂犬病が非常に増えています。広東省では、例年約300件を超える発生が報告されています。狂犬病は致死率が高い疾患です。動物に接する可能性が高い場合、農村部に住む場合はワクチン接種しておくことをお勧めします。

Q2. 予防接種のスケジュールは、暴露前・暴露後はどのようなものでしょうか？

(1) 暴露前

日本方式は、初回接種日を0日とし、4週、6~12ヶ月の3回皮下接種です。WHO方式は、0, 7,

21または28日の3回筋肉内接種です。

(2) 暴露後

暴露前免疫がない場合、日本方式は、初回接種日を0日とし、3、7、14、30、90日の6回皮下接種です。WHO方式は、0、3、7、14、30日の5回筋肉内接種です。それに抗狂犬病免疫グロブリン(日本では入手不可)を接種します。暴露前免疫がある場合も、接種回数、最終接種日からの間隔により接種回数が決まります。

Q3. 実際に犬などの動物に咬まれた場合はどうしたらいいでしょうか。

狂犬病ウイルスに感染している動物の咬み傷などから、唾液と共にウイルスが感染します。傷口や目・唇など粘膜部を舐められた場合も危険性が高いといわれています。咬傷を受けたらまず傷口を石鹸水でよく洗い、消毒液やエタノールで消毒します。そしてすぐにワクチン接種を開始する必要がありますので、医療機関で受診してください。

【参考文献】 広東省衛生庁 2010年指定伝染病発生状況

<http://www.gdwst.gov.cn/a/yiqingxx/201102158574.html>

南里 清一郎 先生(イーストウェストメディカルセンター・メディカルアドバイザー)

慶應義塾大学保健管理センター教授。長く外務省・海外邦人医療基金の依頼を受け、海外に在住する邦人の海外巡回医療・健康相談にあたる。予防接種ハンドブックなどの執筆、小児各方面の健康相談や、丸の内海上ビル診療所(感染予防外来、海外赴任者の予防接種等)の外来も担当している。



乳幼児の無料定期健診、好評実施中!

当院では、皆様のお子様の健やかな成長の一助になることができればと、昨年度より乳幼児の無料定期健診を実施しております。

実施時間：毎週火・水曜日 午後2時～4時 (ご予約制)

お持ち頂くもの：母子手帳

※お持ちでない場合には、当院にて母子手帳(母子衛生研究会発行)の購入もできます。

受診されたお子様のご家族からは、「日本と同じような内容で健診を受けることができ、安心」、「子供の発育状況や、海外での子育てに関する日頃の心配な点を相談できて良かった」など、ご好評の声を頂いております。

ご希望の患者さまは、ご予約が必要となりますので、当院までご連絡下さい。

イーストウェストメディカルセンター

中国広州市天河北路233号、中信広場14階1401室

診療時間：(月～日)9:00～18:00 ※時間外、祝日は電話予約制

TEL:(020) 3879-7605 健康ホットライン: 13822169509 FAX:(020) 3879-7606

<http://www.eastwestmedico.com> E-mail: eastwestmedico@yahoo.co.jp
